

三小だより 4月

新年度の始まりにあたって

校長 寺下 憲志

はじめまして、この4月に大阪府教育庁より赴任してまいりました、寺下 憲志（てらしたけんじ）です。大阪狭山市では第三中学校や市教育委員会で勤務しておりました。久しぶりの学校、初めての校長職ということで、行き届かぬ点もあるかと思いますが、歴代の校長と教職員が力を合わせて築き上げてきた成果を大切にしながら、取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、新年度になり、6日に入学式を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で3月の卒業式同様、簡素化された中でしたが、初々しい新1年の姿に教職員一同、たくさんの元気をもらいました。そして、8日は本来であれば始業式。新しい学年やクラス、担任の先生と学校に子どもたちの明るい声が響く日ははずですが、「緊急事態宣言」に伴い、登校日もなく、臨時休業が5月6日まで続くことが決まったため、静かなスタートとなりました。保護者の皆様には引き続き、ご苦勞をおかけしますが、よろしく願いします。



- ・一人ひとりの力を着実に伸ばす学校にしよう。
- ・将来を見据え、子どもをどう伸ばすかに、こだわっていこう。

1日に赴任した際、私は教職員にこんな話をしました。

当たり前の話ですが、子どもは一人ひとり違います。「こんなところを頑張った」「こんな力がついた」と実感できるように一人ひとりの伸びを大切にしたいと思います。

そのためには保護者の皆様や地域の協力は不可欠です。子どもは落ち着いた環境で健やかに育ちます。子どもの成長のため、大人が協力することで、その環境が生まれます。時には本校の指導に疑問を持たれることもあると思います。その際は子どもをどう伸ばすかにこだわっている担任に相談してください。

このような方針で学校教育を進めてまいりたいと考えています。保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。